

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	現在の利用者様の介護度は平均2.2で、身体的機能レベルがさがらないように関わることももちろん、今だから出来る事として、もっと外出支援をしていくべきと考えている。	毎月、個々にあわせた外出支援を行なっていく。	9月から実施。秋のグラントアのイベントなどが毎月あるので、計画的に出かけるように話し合う。 継続する事に意味があるので、GHスタッフ会議で次月の内容を決定していく。	3ヶ月
2	2	地域密着型サービスとしてのグループホームであるが、遠田地域の方の利用というより、市街地の方も多し。顔なじみの方が訪ねてきてくださいますが、地区の方々にも、気軽に尋ねていただける施設とまではなっていない。	寄り合いサロンの開催を定期的に行う。	第1回目を9月20日に予定する。 今年度は、3～4ヶ月に1回のペースで試みる。 馴染みの関係ができてくれば、2ヶ月に1回と増やしていく。	12ヶ月
3	35	確実に利用者の安全確保と全職員が緊急時に適切な判断ができるよう取り組みに期待したい。 (サービス評価委員からの提言)	火災訓練の振り返り、想定パターンに合わせたシュミレーションを行って緊急時に備える。	①設備内容についての確認、機能を知る。 ②火災想定シュミレーションを行っていく。 マニュアル化していく。 ③地震想定シュミレーションを行っていく。	6ヶ月
4	9	個別ニーズに対応できるよう、寄り添う介護に取り組み介護計画へ繋げて頂きたい。	個々の趣味や好まれることを読み取り、その人らしく暮らしていただけるよう、日々のかかわりの中で深めていく。	担当を中心に、入所の方おひとりお一人の心地よい時間を毎日の中で作っていく。(継続していく)	ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。